

京都新聞

夕刊

京都新聞社
The Kyoto Shinbun Co., Ltd.

発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通奥川上ル

10月27日
火曜日

夕刊の紙面

羽田 国際空港化10年
「鬼滅の刃」1強大ヒット
西山さんに補償金支払い決定

武田病院グループ 医療法人財団 医道会

開設型病院・国士交通省指定短期入院協力病院・京都府リハビリテーション教育センター
救急告示病院・日本医療機能評価機構認定病院・医療期リハビリテーション病院

十条武田リハビリテーション病院

南区吉祥院八反田町 32 TEL.075(671)2351(代)

稲荷山武田病院

日本医療機能評価機構認定病院
緩和ケア病棟 在宅療養支援病院

伏見区深草正覚町 27 TEL.075(541)3371(代)

◆渡る世間の鬼たちも、おしんの努力で究めた道をたたえよう。まして政府の横やりなど。橋田さんらに文化勲章。

◆最先端技術で犬の種類まで判明。将来を見据えた暮末の志士たちも驚いているはず。戊辰戦争絵巻をデジタル化。

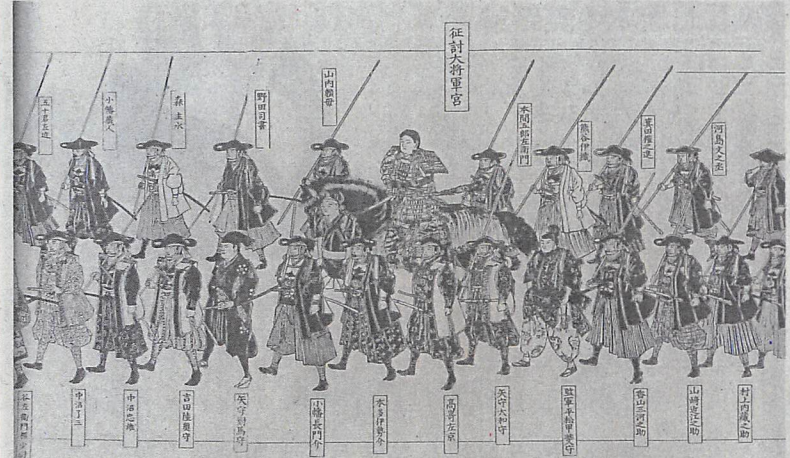
◆浜風には負けない。本塁打50本は当たり前。三冠王狙うとは頼もしい。阪神トライア佐藤内野手は体も口もビッグ。

あすの天気

こんや	あす	最高	最低				
18時	0	6	12	18	0	最高	最低
京都	☀	☀	☁	☁	☁	21	8
京都北	☀	☀	☁	☁	☁	(19.4)	(10.0)
京都南	☀	☀	☁	☁	☁	21	10
滋賀	☀	☀	☁	☁	☁	(20.5)	(11.0)
滋賀北	☀	☀	☁	☁	☁	19	9
滋賀南	☀	☀	☁	☁	☁	(18.9)	(10.7)

戊辰戦争絵巻 デジタルでくっきり

犬種、刀の差し方も



仁和寺が所蔵する戊辰戦争絵巻(部分)。着物の柄や刀の差し方など細かな部分まで拡大して確認できるため、今後の活用方法への期待が広がる(仁和寺提供)

仁和寺 超高精細撮影進む

仁和寺(京都市石京区)が所蔵する「戊辰戦争絵巻」を超高精細画像で撮影し、デジタル化する構想が進んでいる。撮影した画像を確認すると細かな部分の描かれ方に新たな発見も多数あり、将来的には仮想現実(VR)体験プログラムの開発や研究資料の作成など多分野での活用を目指す。

仁和寺は最後の皇族出身門跡の純仁法親王(後の小松宮彰仁親王)が復讐し征討大將軍となった歴史があり、戊辰戦争とゆかりが深い。戊辰戦争の「鳥羽伏見の戦い」を描いた上下巻の絵巻や親王が戦地に持参した「錦の御旗」などを所蔵する。

寺では10年ほど前から一般社団法人「先端イメージング工学研究所」(左京区)代表理事の井手亜里さん(68)の協力を得て寺宝のデジタル化に着手。観音堂の仏像の撮影画像を使ったVRプログラムを作成するなど実績を上げてきた。上下巻合わせて約41ある戊辰戦争絵巻については、今年7月、井手さんたちが新たに開発した機器を用いてカラーやモノクロの超高精細画像を撮影し、現在も画像処理の作業が続いている。

また、井手さんたちのチームは、仁和寺の絵巻だけでなく、星野園廊(東山区)所蔵の絵画「戊辰之役之図」や嵐山歴史館(食山区)の錦絵、城南宮(伏見区)所蔵の軍旗や合戦日誌など多くの関連資料も撮影。

9月下旬には鳥羽伏見の戦いをテーマにしたシンポジウムを実施した。シンポジウムでは、幕末の歴史に詳しい嵐山歴史館の木村幸比古副館長(当時)が登場。撮影した画像を拡大しながら描かれている洋装は、イングリッシュセーター「調練を受けた兵士の刀は「ザール」など」とよばれる差し方など細部まで拡大できる高精細画像の特長を活用しながら見どころを紹介した。

今後の活用方法は未定だが、仁和寺の吉田正統執行長は「細かく見ること新しい発見がいろいろと出てくるのでは」と成果に期待を寄せる。井手さんは調査量をさらに増やしたいという。「情報が広がることで歴史の見方が変わる可能性も秘めている。世界から見た戊辰戦争を描きたい」と話している。(太田敦子)



戊辰戦争にまつわる資料の画像を撮影する井手さん(右)と先端イメージング工学研究所提供

橋田寿賀子氏文化勲章

計5人 西川きよし氏、功労者

政府は27日、2020年度の文化勲章を脚本の橋田寿賀子(95)、工芸(人形)の奥田小由女(83)、日本の文学の久保田淳(87)、物

性物理学の近藤淳(90)、彫刻の滝川喜一(89)の5氏に贈ることを決めた。文化功労者には、スポーツの加藤沢男(74)、作曲の三

枝成彰(78)、漫才の西川きよし(74)ら20氏を選んだ。漫才の分野からの選出は初。

初。9面に関連記事



橋田寿賀子氏



奥田小由女氏



久保田淳氏



近藤淳氏



滝川喜一氏



西川きよし氏

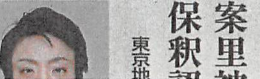
各分野で文化勲章は橋田氏、近藤氏の3人は西川氏を

日付朝刊に特集
文化勲章の親授式は11月3日に皇居で、文化功労者の顕彰式は同4日に東京都内のホテルで開かれる。

文化功労者ほ他に、科学哲学・科学史・比較文学の伊東俊太郎(90)、応用数学の石倉進一(87)、撮影の木村大作(81)、マンガ経済学の清浦信宏(65)、放送文化(テレビ)の今野勉(84)、音楽文化振興の酒井政利(84)、作曲・メディア芸術のすぎやまこういち(89)、文化振興の鈴木幸一(74)、美術一般の高橋秀(90)、食文化・パブリックアート・文化振興の滝久雄(80)、物性物理学の土倉好紀(66)、文豪(三味線の鶴沢清治)(75)、メカトロニクスの原島文雄(80)、能楽(ワキ方)の福玉茂十郎(77)、発声遺伝学の堀田凱樹(82)、工芸染織の森口邦彦(79)、社会学の山口一男(74)の各氏。

橋田氏は海外でも広く放送された「おしん」や長寿番組「渡る世間は鬼ばかり」などテレビドラマの名作を数多く生み出した。奥田氏は日本を代表する人形作家として、創造的な作品を多数制作。久保田氏は和歌文

東京地裁 案里 保釈 東京地裁 案里 保釈



東京地裁